

令和3年度移動等円滑化推進協議会（書面開催）の意見

報告事項 特定事業等の令和3年度進捗状況について

番号	意見等	回答
1	<p>今年度をもって終了することは、一定の役割を果たしたものと思っており異論ありません。意見照会についても特にありません。継続実施や新たな改修の案件は気がかりな所です。バリアフリーの町全体の推進については組織や体制などを新たに構築する必要を感じています。この協議会がそのきっかけとなることを期待しています。</p>	<p>本協議会の定例開催は終了しますが、バリアフリー基本構想は活用され続けます。今後の重点整備地区内の整備にあたっては、基本構想に基づく整備方針を堅持して参ります。</p> <p>また、令和4年10月には機構改革が実施され、基本構想の所管部署も移る予定ですが、基本構想に基づく内部での進捗確認は今後も継続して実施する予定です。</p>
2	<p>年一回とはいえ、関係事業者さまにご足労頂き、進捗状況の報告と質疑応答させてもらえたことは貴重な機会でした。</p> <p>おかげさまで、バリアフリーが進み、出かけやすくなりました。</p> <p>注意が必要だと思える所が2ヶ所あります。</p> <p>①播磨町駅西側踏切は、ガタガタで車椅子乗せて走るとすごく揺れます。往来が多く、対向車や自転車、歩行者の譲り合いが必要で危ないです。</p> <p>②いきいきセンター利用者は町ディの入口前をぐいぐい自転車で通りぬけます。送迎車が邪魔だと怒られることもあります。どうも同じ施設だと勘違いされているようで、困ったものです。</p> <p>この会議の良かった点は、当事者の参加があり、顔を合わせて意見が交わせる所です。終了されるのは残念です。</p> <p>障がい者との交流はとても少ないです。</p> <p>手を貸さなくても移動できるのは便利だけど、さびしいとも思えます。一緒に行動してこそ不便さを理解できることもあると思います。何か機会があると嬉しいです。</p>	<p>①ご指摘の踏切に関する歩道拡幅については、用地買収に多大な時間・費用を要することからも、長期的な検討が必要です。危険防止の観点からは、整備済みの周辺歩道を通行し、播磨町駅地下道のエレベーター等をご利用いただくことで、安全な通行ができるものと考えます。</p> <p>②施設利用者の町ディサービスセンター付近通行時のマナーについては、利用者への広報によるマナー向上の啓発を検討します。</p> <p>本協議会は定例的な開催を終了しますが、バリアフリー基本構想は活用され続けます。また、新たな計画等の策定にあたっては、障がいのある当事者のご意見をお伺いする場を積極的に持てるよう、今後も考えて参ります。</p>

<公園や公共施設のトイレに関するご意見>

播磨町はバリアフリーに力を入れていると思いますが、多目的トイレが利用する立場の方に合っていないため、利用できない所が多いです。

1人で移乗する人、介助者に移乗してもらわないといけない人など、車いす利用者でも多岐にわたります。

どうか設置する場合は、時間がかかるかもしれませんが、障がい者本人に使い勝手等の検証をしてもらって、利用しやすいものにしていただきたいです。トイレが出来ないと外出もできません。

町内の公園や公共施設の整備における多目的トイレの設置にあたっては、国等が示す整備基準やガイドラインに則った整備を行っております。今後、障がいのある当事者のご意見を伺う機会がありましたら、基準やガイドラインの範囲内において、以降の整備の参考とさせていただきます。